

第1回山梨県社会教育委員の会議 あいさつ

第1回山梨県社会教育委員の会議、の開催および委員の委嘱・任命にあたり、ごあいさつ申し上げます。本日までご出席の皆様方には山梨県社会教育委員をお引き受けいただき、心より感謝申し上げます。また日頃から本県教育行政の推進に深いご理解とご協力を賜り、重ねて厚くお礼申し上げます。

社会教育というのはとても幅広い概念だと思います。家庭で行われる家庭教育、学校で行われる学校教育などと比べて、社会教育にはその具体的な内容として様々な分野、様々な場面があります。個人的な話で恐縮ですが、私は子供の頃参加していた地域の子供クラブの活動を思い出します。

特に定期的に行われていた廃品回収とその収益を充てて計画された夏休みのキャンプのことを覚えています。普段あまり言葉をかわしたことのない人と一緒に行動するのが苦手で、参加すること自体とてもつらかったのですが、我慢して参加し続けました。少しずつ大人になれた、と今では振り返っています。

子供も大人も様々な経験を通じて成長しますが、新しい状況に置かれた時の自分自身との対話、これが大切ではないかと私は思います。毎日顔を合わせる関係の中で行われる家庭教育や学校教育以上に、社会教育の場面では自分自身との対話が活発になります、社会教育の重要性を私はこのように考えています。

社会教育の捉え方は分野に応じて、目的に応じて多様であると思います。県社会教育委員の会議は社会教育行政において県民の皆様の声や専門的なお立場からのご意見を広く反映させるために設置される県教育委員会の附属機関ですが、これまでもその時々課題について貴重なご提言をいただいて参りました。

今回も現在の、そしてこれからの社会教育行政について皆様の広い視野と卓越した見識をもってご意見、ご提言をいただければ幸いです。委員の皆様にはたいへんお忙しい中と存じますが、二年間、どうぞよろしく願いいたします。